

# 国立大学図書館協会春季理事会（平成26年度）

## 議事要旨

日 時：平成27年5月18日（月） 14：15～17：30

場 所：東京大学史料編纂所大会議室（福武ホール B1F）

出席者：別紙のとおり

### 1. 開会

久留島会長（東京大学・館長）から、文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付渡邊学術基盤整備室長、菅原大学図書館係長、国立情報学研究所学術基盤推進部の酒井次長、細川学術コンテンツ課長、小陳図書館連携・協力室長にご出席いただく旨、紹介があった。

### 2. 会長挨拶

久留島会長から開会の挨拶があり、出席者が自己紹介を行った。

### 3. 前回議事要録の承認

久留島会長から、秋季理事会（H26. 11. 17・東北大学）の議事要旨（案）について、既に事前に理事館に送付しご意見を伺っており、朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの説明があった。

### 4. 報告事項

#### （1）各委員会等報告

##### 1）総務委員会

東京大学・尾城事務部長（総務委員会委員）から、配付資料（No. 1-1）に基づき、委員会の活動内容について報告があった。

##### 2）国立大学図書館協会賞受賞者選考結果報告

大阪大学・井上事務部長（協会賞専門委員会委員長）から、配付資料（No. 1-2、1-3）に基づき、平成27年度の応募3件について、協会賞専門委員会で審議を行った結果、東京大学法学部研究室図書室 石田唯氏と、広島大学図書館 ライティングセンター実務担当者グループの活動を協会賞に推薦し、総務委員会において了承された旨報告があった。

##### 3）人材委員会

東北大学・米澤事務部長（人材委員会委員）から、配付資料（No. 2-1）に基づき、委員会及び小委員会の活動内容について報告があった。また、配付資料（No. 2-2～2-4）に基づき、平成26年度の海外派遣事業及び平成27年度海外派遣者の審査結果について報告があった。

#### 4) 学術情報委員会

京都大学・甲斐事務部長（学術情報委員会委員）から、配付資料（No. 3）に基づき、委員会の活動内容について報告があった。

#### 5) 教育学習支援検討特別委員会

名古屋大学・大西事務部長（教育学習支援検討特別委員会委員）から配付資料（No. 4、別冊 1、別冊 2）に基づき、活動内容について報告があった。

### （2）各地区協会報告

配付資料（No. 5）にあることのほか、各地区からの追加報告はなかった。

### （3）地区協会助成事業報告

配付資料（No. 6）にあることのほか、各地区からの追加報告はなかった。

### （4）国公立大学図書館協力委員会報告

筑波大学・北村情報管理課長（国公立大学図書館協力委員会常任幹事館）から、配付資料（No. 7）に基づき、国公立大学図書館協力委員会の活動内容について報告があった。

### （5）大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告

国立情報学研究所・小陳図書館連携・協力室長から、配付資料（No. 8）に基づき、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動内容について報告があった。

### （6）日本図書館協会報告

筑波大学・江川副館長（日本図書館協会大学図書館部会委員長館）から、配付資料（No. 9）に基づき、日本図書館協会大学図書館部会の活動報告があった。

### （7）その他

事務局から、報告資料は協会ホームページ上に掲載した後、そのうち各委員会報告・各地区協会報告については総会資料（冊子）にも掲載する予定であり、5月20日までに修正事項があれば連絡してほしい旨、説明があった。

## 5. 協議事項

### （1）教育学習支援検討特別委員会の設置期間延長について

名古屋大学・大西事務部長（教育学習支援検討特別委員会委員）から、配付資料（No. 10-1、10-2）に基づき、教育学習支援検討特別委員会の設置期間の1年間延長について説明があり、審議の結果、資料10-2の一部を修正することで了承され、総会に提案することとなった。

(2) 平成 28 年度以降の海外派遣事業の枠組みについて

東北大学・米澤事務部長（人材委員会委員）から、配付資料（No. 11）に基づき、平成 28 年度以降の 3 年間、海外派遣事業を継続実施することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 平成 26 年度決算（案）について

事務局から、配付資料（No. 12、13）に基づき、平成 26 年度の協会、記念基金の決算（案）の報告があった。続いて監事館の神戸大学・野海館長から、平成 26 年度の会計監査結果について、経理内容は適正であった旨の報告があり、決算案が了承され総会の協議に付すこととなった。

(4) 平成 27 年度以降の地区協会助成事業の実施について

事務局から、配付資料（No. 14-1、14-2）に基づき、地区協会助成事業を平成 27 年度以降の 2 年間継続実施することについて説明があり、審議の結果了承された。

(5) 平成 27 年度事業計画（案）について

尾城事務局長から、配付資料（No. 15-1、15-2）に基づき説明があり、審議の結果、教育学習支援検討特別委員会の活動については、協議事項（1）「教育学習支援検討特別委員会の設置期間延長について」で提案された趣旨も加味して修正することで了承され、総会の協議に付すこととなった。

(6) 平成 27 年度予算（案）について

事務局から、配付資料（No. 16、17）に基づき、予算案について説明があった。大阪大学・井上事務部長（人材委員会委員）から、250,000 円とされたマネジメント・セミナー経費について、会場費が昨年よりも高額になることが見込まれるため、増額して欲しいとの提案があり、800,000 円と変更した。また、海外派遣事業について協会予算から記念基金に 250,000 円の繰り入れについての説明をより詳しく記述すべきとの指摘があり、マネジメント・セミナー経費の増額の件も含め訂正することとなった。以上の審議の結果了承され、総会の協議に付すこととなった。

(7) 関係団体への派遣役員について

事務局から、配付資料（No. 18）に基づき、関係団体への派遣役員について説明があり、一部を再度確認の上修正することで了承された。

(8) 第 62 回総会について

1) 日程について

事務局から、配付資料（No. 19-1）に基づき、説明があり、一部修正することで了承された。

2) 総会の議長団について

久留島会長から、議長を横浜国立大学・深貝館長、副議長を九州工業大学・鶴田館長にお願いしたいとの提案があり、了承された。

3) 研究集会のテーマ・企画担当について

尾城事務局長から、配付資料 (No. 19-2、19-3)、に基づき、各地区協会から提出されたテーマをとりまとめた結果について、説明があった。審議の結果、テーマと担当地区について下記のとおり了承された。

(テーマ) 学術情報のオープン化への対応について

担当：北海道地区・関東甲信越地区

また、総会資料に掲載する研究集会企画案については A4 サイズ 1 枚にまとめ 5 月 25 日までに事務局へ送付してほしい旨、説明があった。

4) オブザーバについて

事務局から、総会オブザーバについて以下のとおり報告・提案があり、了承された。

- ・ 高エネルギー加速器研究機構、国立歴史民俗博物館、国立女性教育会館、国立天文台、国立極地研究所に、例年通りオブザーバ出席の案内文書を会長名にて送付した。
- ・ 国立情報学研究所学術基盤推進部は、協会事業と関連が深いので、例年通り出席を依頼したい。

(9) 第 63 回総会の当番館・日程等について

東北大学・植木館長より、配付資料 (No. 20) に基づき、平成 28 年度の総会について、東北大学附属図書館を当番館として、平成 28 年 6 月 16 日 (木) 17 日 (金) に宮城県仙台市内で総会及び懇親会を実施する予定である旨説明があり、了承された。また、尾城事務局長より、次回総会のプログラムについては秋季理事会にて協議する予定である旨説明があり、了承された。

(10) 『大学図書館研究』および『大学図書館協力ニュース』の OA 化経費について

尾城事務局長から、配付資料 (No. 21) に基づき、『大学図書館研究』および『大学図書館協力ニュース』の OA 化経費について説明があり、さらに筑波大学・北村情報管理課長 (国公立大学図書館協力委員会常任幹事館) から補足の説明があった。久留島会長 (東京大学・館長) から、今後この問題に協会としてどのように取り組むか、秋季理事会において改めて議題として取り上げる旨、発言があった。

(11) ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について

尾城事務局長から、配付資料（No. 22-1、22-2）に基づき、ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について説明があり、さらに京都大学・甲斐事務部長（学術情報委員会委員）から補足の説明があった。審議の結果、ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について、これからの学術情報システム構築検討委員会の提案の通り、エージェント方式を今後検討することが了承され、総会の協議に付すこととなった。

(12) 国立情報学研究所教育研修事業の今後の方向性について

尾城事務局長から、配付資料（No. 23）に基づき、国立情報学研究所教育研修事業の今後の方向性について説明があった。久留島会長（東京大学・館長）から、今後この問題に協会としてどのように取り組むか、秋季理事会において引き続き議題として取り上げる旨、発言があった。

(13) NACSIS-CAT の新システムについて

尾城事務局長から、配付資料（No. 24、当日配付資料）に基づき、NACSIS-CAT の新システムについて説明があり、さらに京都大学・甲斐事務部長（学術情報委員会委員）から補足の説明があった。久留島会長（東京大学・館長）から、今後この問題に協会としてどのように取り組むか、秋季理事会において引き続き議題として取り上げる旨、発言があった。

(14) その他

北海道大学・富田事務部長（大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議 機関リポジトリ推進委員会委員長）から、機関リポジトリ推進委員会の今年度の重点的な活動目標について説明があった。

久留島会長から、前回の議事要旨（案）について、訂正等がないかどうかの確認があり、九州大学からの出席者についての誤記を修正することで承認された。

また、事務局から、配付資料（No. 25）に基づき、協会等の今後のスケジュールについて説明があった。

6. 閉会



国立大学図書館協会  
春季理事会出席者

平成27年5月18日(月) 14:15~17:30  
東京大学史料編纂所  
福武ホール地下1階 大会議室

北海道大学	館長 事務部長 管理課長	新田孝彦 富田健市 相原雪乃
帯広畜産大学	館長 学術情報室長	金山紀久 高野直樹
東北大学	館長 事務部長 総務課長	植木俊哉 米澤誠 小川聡
秋田大学	図書館・情報推進課長	森谷めぐみ
筑波大学	館長 副館長 情報管理課長 情報サービス課長	中山伸一 江川和子 北村照夫 佐藤初美
横浜国立大学	館長 図書館情報課長	深貝保則 山本和雄
東京大学	館長 事務部長 総務課長 情報管理課長 情報サービス課長 柏地区図書課長	久留島典子 尾城孝一 木下聡 熊渕智行 岡部幸祐 市村櫻子
一橋大学	館長 学術・図書部長 学術情報課長	山部俊文 上原正隆 鈴木宏子

名古屋大学	館長 事務部長 情報管理課長	森 仁 志 大 西 直 樹 竹 谷 喜美江
金沢大学	館長 情報部長	古 畑 徹 上 地 進
京都大学	図書館機構長 事務部長 総務課長 情報管理課長	引 原 隆 士 甲 斐 重 武 島 文 子 鈴 木 秀 樹
大阪大学	副館長 事務部長 利用支援課長	高 橋 文 治 井 上 修 磯 谷 峰 夫
広島大学	館長 副図書館長 図書学術情報整備グループリーダー	寺 本 康 俊 高 橋 努 山 根 博
山口大学	館長 情報環境部長 学術情報課長	山 内 直 樹 小 林 洋 二 叶 井 貫一郎
九州大学	館長 事務部長 図書館企画課長	宮 本 一 夫 益 森 治 巳 郷 原 正 好
熊本大学	館長 教育研究推進部長 図書館ユニット長	山 尾 敏 孝 山 崎 雅 彦 澤 田 敬

(監事館)

岩手大学

館 長  
学 術 情 報 課 長

喜 多 一 美  
竹 谷 隆 則

神戸大学

館 長  
事 務 部 長  
情 報 管 理 課 長

野 海 正 俊  
内 島 秀 樹  
湖 内 夏 夫

(オブザーバ)

文部科学省研究振興局

参事官（情報担当）付  
学術基盤整備室

室 長  
大学図書館係長  
大学図書館係研修生

渡 邊 和 良  
菅 原 光  
永 友 敦 子

国立情報学研究所

学術基盤推進部

次 長  
学術コンテンツ課長  
図書館連携・協力室長

酒 井 清 彦  
細 川 聖 二  
小 陳 左和子